

Contents

- ▶岡村 真さん、パリ2024オリンピック体操女子日本代表内定報告会
- ▶大学では全国初!!フードロス削減プロジェクトが開催
- ▶竹林整備実習を実施

- ▶「図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会」に参加
- ▶ウミガメ保護と環境問題について考える
- ▶大学野球連盟の三重県選抜チームに14名が選出

岡村 真さん、パリ 2024 オリンピック体操女子日本代表内定報告会

6月14日(金)、パリ2024オリンピックで体操女子代表に内定した、岡村真さん(総政策学部1年)の体操女子日本代表内定報告会が行われ、在学生たちからオリンピック出場に向けた熱いエールが送られました。岡村さんは、「パリ五輪は、ずっと目標にしていた大会なので代表内定はうれしい。最高の演技ができるように頑張りたい。」と活躍を誓いました。

代表の学生から、フランスの国旗をイメージしたトリコロールカラーの花束を受け取り、伊勢型紙部が平均台での演技中のシルエットをイメージした伊勢型紙の色紙に、岡村さんからサインを書いてもらいました。

また、岡村さんは同日行われたメディアの取材にも応じ、五輪に向けては「新技も考えているが、まずは、Eスコア(演技の出来栄や美しさ、正確さ)を上げたい。残りの期間でしっかり調整していきたい。」と語りました。



パリ 2024オリンピック体操競技 女子日程

7月28日(日)	予選	8月1日(木)	個人総合決勝
7月30日(火)	団体競技	8月3日(土)	種目別跳馬決勝
		8月4日(日)	種目別段違い平行棒決勝
		8月5日(月)	種目別平均台決勝、種目ゆか決勝

大学では全国初!!フードロス削減プロジェクトが開催



アジパンダ食堂



学食内の様子

5月20日(月)に学食にて、フードロスに関するイベント「アジパンダ食堂」が開催されました。

これは、フードロス対象商品を学食で提供して、学生にフードロスや子ども食堂支援への関心を持ってもらうことを目的に、四日市市内で高校生による多文化共生のまちづくりに取り組む「みんなこ」、四日市子ども食堂ネットワーク、味の素株式会社、学食を運営する株式会社プラトンホテルにご協力をいただき、大学としては全国で初めて実施されました。

今回は、味の素株式会社よりハンバーグを無償でご提供いただき、ここでの収益は、四日市市内の子ども食堂の支援に充てられます。

コラボメニューは、学生や教職員らが列をつくるなど大変好評で、学生からは「美味しい」との声が多く聞こえました。学生にフードロスの現状や子ども食堂の活動についても知ってもらうきっかけになったようです。

竹林整備実習を実施

5月21日(火)、「環境情報学概論Ⅰ」の授業で竹林整備実習を行いました。今回の実習は、NPO法人PPK四日市の6名の皆さんが講師となり、環境情報学部の1年生が5班に分かれて作業を進めました。伐採する竹の選び方やノコギリの使い方を学び、竹を切ったり、枝を払ったり、野積みしたりする作業を体験し、竹林の環境保全の必要性について学びました。



伐採する竹の選び方の説明を聞く様子

「図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会」に参加

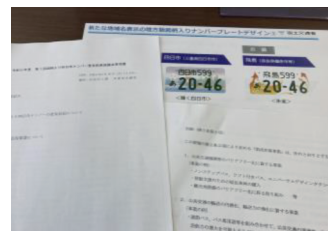
6月18日(火)に四日市市役所で開かれた「図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会」の今年度第1回目の会議に、井伊千陽さん(総合政策学部2年)が委員として参加しました。

自動車の図柄入りのナンバープレート(カラー版)は、その交付の際に一定の寄付が義務付けられており、この図柄入りのナンバープレートを導入しているエリアごとに協議会を設け、この寄付金の使途について検討することが求められています。

四日市ナンバーのエリアでも、2020年度から図柄入りのナンバープレートが導入され、「図柄入り四日市ナンバー普及促進協議会」が設けられましたが、昨年度のこの会議において、委員に大学生を入れて若者の意見も聞きたいとの意見が出たことから、本学の学生が参加しています。



会議に参加する学生



会議資料



ウミガメのはく製



甲羅を背負い、
匍匐前進体験をする学生



講義の様子

ウミガメ保護と環境問題について考える

6月14日(金)の地域連携環境講義に伊勢湾のウミガメの保全活動に取り組む米川弥寿代さんをお迎えしました。米川さんは「ウミガメネットワーク三重」の代表で、津市から四日市市までの海岸に上陸産卵するウミガメの記録と保護活動、死骸として打ち上がるウミガメの斃死原因を探るための解剖調査などを実施されています。講義では「ウミガメの生態とその保護」「ウミガメ保護と環境問題」というお話とウミガメの標本や写真を紹介していただきました。

学生たちからは「地球温暖化で水温が上がると、アカウミガメはメスばかりになってしまうことを知った。温暖化を食い止めないといけない。」「光害で子ガメが被害を受けていることを知った。対策をすべきだ。」「漂着ごみの子ガメが海に戻るのを妨げている。ただでさえ生き延びる確率が低いのに、大きな問題だ。」などの意見が寄せられました。アカウミガメの重い甲羅を背負って、匍匐前進する体験をした学生からは「ウミガメは上陸する時に大変な苦勞をすることがよく分かった。」という声も聞かれました。

大学野球連盟の三重県選抜チームに14名が選出

6月29日(土)・30日(日)に愛媛県松山市で開催された第3回四国地区・東海地区・中国地区大学野球連盟交流戦の三重県選抜チームに本学の硬式野球部から14名の選手が選ばれ、選手たちは持ち味を遺憾なく発揮し、チームの勝利に大きく貢献してくれました。

選抜メンバー紹介

投手…曾我 侃龍 (2年)	内野手…鍛治園 健人 (4年)
投手…間瀬 倫太郎 (3年)	内野手…間曾 達揮 (3年)
投手…加藤 永悟 (4年)	内野手…西村 友貴 (3年)
投手…早瀬 悠 (4年)	内野手…宇野 龍一郎 (2年)
捕手…大澤 広成 (3年)	内野手…児玉 凌太 (4年)
捕手…遠藤 倅 (3年)	内野手…山本 偉登 (1年)
	外野手…瀬津 龍司 (4年)
	外野手…黒瀬 大喜 (2年)



※本号は2024年4月から6月までの情報を中心に掲載しています。

